



林野庁図書館ニュース



発行：林野庁図書資料館

TEL：03-3501-0964

年末特集

よく読まれている図書のご紹介



林野庁図書資料館所蔵の図書の中で、2023年1月から11月までの間に貸出回数の多かった図書Top3をご紹介します。この11カ月間における林野庁図書資料館所蔵図書の貸出数は、1,098冊でした。業務遂行の上での参考図書を求めて、スキルアップを求めてなど様々な目的で図書館に足を運んでくださる皆さまのお役に立てますよう、これからも図書資料や各種サービスの充実に努めてまいります。皆さまのご来館をお待ちしております。

1 公務員の人前で話す技術
あがらずに話せる全ノウハウ



人前で話すのが苦手な公務員に向けて、説明・スピーチをする際の基本的なポイントに加え、会議・会合、レク、昇任面接、記者会見、議会答弁、研修講師まで、場面別に話し方のコツを伝授。

著者：鳥谷朝代
出版社：学陽書房
(2022年)

2 森林土木学 第2版



森林土木学の学部生向け教科書。公務員・技術士試験に役立つ演習問題と解答を掲載。森林路網の計画、林道の幾何構造、等。

編集：鈴木保志
出版社：朝倉書店
(2021年)

3 改訂版 業務で使うQGIS ver.3
完全使いこなしガイド ver.3.22対応



林務行政、林業経営に活かせる。便利なデータ処理、地図化、ファイル作成が今すぐに。森林経営管理制度の支援ツールとしても最適。

著者：喜多耕一
出版社：全国林業改良普及協会(2022年)

～第4位以降の図書～

『バイオプラの教科書 脱炭素時代のグリーン材料』 著者：小松道男 出版社：日経BP(2021年)
基礎から体系的に解説したバイオプラスチックの教科書。専門書の性格をできる限り薄め、実例に基づいて分かりやすく説明。

『霞が関の人になってみた 知られざる国家公務員の世界』 著者：霞いちか 出版社：カンゼン(2023年)
【酸いも甘いも体感、これが霞が関の日常だ！】ナゾだらけの働き方がリアルに面白くなる！楽しく学ぶ霞が関ガイド本。

『森林・林業実務必携 第2版』 編集：東京農工大学農学部 出版社：朝倉書店(2021年)
林業現場技術者の実務書として好評のテキストの改訂版。高度化・広範化した林業実務に必要な技術・知識を、基礎的な内容とともに拡充。

『国際交渉の法律英語』 著者：中村秀雄 英文監修：野ロジューディー 出版社：日本評論社(2017年)
口にした言葉を書き取れば、最終的な英文法律文書ができあがるように話すことで、契約交渉を有利に進めることができる用語用例集。

『新版 地すべり工学』 著者：申潤値 出版社：山海堂(2002年)
地すべり調査・解析の流れを追いながら実務例題を中心に構成。「地すべりと崩壊」「岩盤すべりの発生機構」などのほか「コメント編」も加えて詳解。



イラスト 平田美紗子



【ご案内】 農林水産省「消費者の部屋」展示 リーフアートワークショップを開催します

令和6年1月の「消費者の部屋」の展示では、『新・リン子の絵日記1・2』を中心とした林業マンガパネル及びリーフアート(葉っぱ切り絵)作品を展示します。また、初の試みとしてリーフアートのワークショップを開催します。「森のリーフアーティスト うけさん」こと、佐野由輝(さのゆうき)氏を講師にお招きし、和紙を台紙としたリーフアートのオリジナルしおりを製作します。葉っぱによって違う見た目、厚みや柔らかさなどの感触、デザインカッターで葉っぱを切り取った断面から香る青々とした匂いを楽しんでみませんか。みなさまのお越しをお待ちしております。

本の森に出かけよう～みずかな樹木には魅力がいっぱい～

展示期間：令和6年1月22日(月)～26日(金) 10時から17時
(22日は12時から、26日は13時まで)

会場：農林水産省「消費者の部屋」
(東京都千代田区霞が関1-2-1 農林水産省北別館1階)

≪ワークショップ≫リーフアートでオリジナルのしおりを作ろう

開催日時：令和6年1月24日(水)①12:10～12:55 ②13:00～13:45
// 26日(金)③12:10～12:55 (26日は1回)

定員：各回12名(各回先着受付順、定員に達し次第締切)
※受付は会場でワークショップ当日12:05～開始(24日は①②同時受付)

講師：佐野 由輝 氏
(国研)森林研究・整備機構 森林整備センター職員
(公財)日本自然保護協会自然観察指導員

会場：農林水産省「消費者の部屋」

参加費：無料

消費者の部屋
ホームページ



佐野由輝 作

第69回 日本山林美術展のご案内

日本の山林風景を描く美術作家の作品が一堂に会し、国内各地の山林風景をお楽しみいただけます。林野庁職員 平田美紗子氏の作品も展示されます。(後援：林野庁、森林文化協会)

期間：2024年1月29日(月)～2月4日(日)
場所：銀座アートホール(銀座8丁目 銀座コリドー街)



日本山林美術協会
ホームページ

新着図書・注目図書のご案内

林野図書資料館は、林野行政・施策部門における専門図書館として、歴史的に貴重な明治・大正期の森林・林業・木材産業に関する資料から森林環境教育等にご活用いただけそうな図鑑や絵本等まで幅広く図書を備え、皆様のご利用をお待ちしております。新着図書や注目図書の一部をご紹介します。

キボリアル ー木彫りアーティストキボリノコンノ作品集ー



独自の木彫り&塗装テクニックでとろ〜りとろけるチーズや液体、透明なビニールまで様々なものをリアルに表現し、各メディアで話題を集めるキボリノコンノさん。彼がこれまでに作ってきた人気作品を一挙掲載し、それぞれの作品が普通の「木」から「あっと驚くもの」に生まれ変わる過程を徹底解剖します。

著者:キボリノコンノ
出版社:玄光社(2023年8月)

新版 絵でわかる樹木の知識 (絵で分かるシリーズ)



2012年出版の『絵でわかる樹木の知識』のカラー改訂版。新しい科学的知見を加え、イラストとともに事例写真を掲載。樹木のポディーランゲージ=樹形や樹皮の正しい読み解き方と、樹木に関する正しい知識を解説。樹木の保全・管理に役立つ一冊。

著者:堀 大才
出版社:講談社(2023年8月)

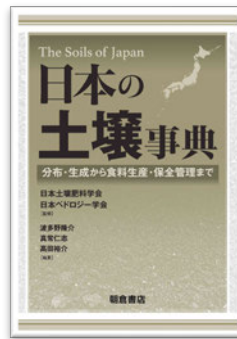
樹木が地球を守っている



環境問題が深刻化するいま、樹木は人類に何を語るのか?また、「木材は環境に優しい」「木を伐採しても、植林すれば森は再生する」「人工林でも森の生態系は維持できる」は、本当なのか。『樹木たちの知られざる生活』の著者が、長年の観察と最新科学を交えて明かす、木や森をめぐる真実と環境問題解決のための具体策。

著者:ペーター・ヴォールレーベン
訳者:岡本 朋子
出版社:早川書房(2023年9月)

日本の土壌事典 ー分布・生成から食料生産・保管理までー



土壌は地球を構成する重要な要素のひとつであり、近年深刻化する気候変動や食糧不足等の問題とも密接に関連している。持続可能な国土をつくるうえで、日本の土壌をよく知ることが不可欠である。本書では日本の土壌の構成や成り立ちを体系的に紹介するとともに、地域ごとの土壌の特徴や利用についても詳述。

編集:日本土壌肥料学会・日本ペドロジー学会(監修)・波多野 隆介・真常 仁志・高田 裕介(編)
出版社:朝倉書店(2023年10月)

生きものがつくる美しい家 (動物たちのすごい巣121)

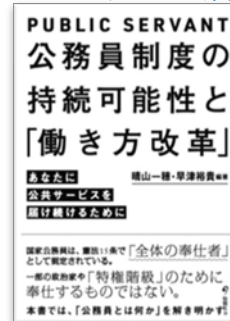


家を建てるのは人間だけじゃない! 巨大な鳥の巣から、小さな深海生物がつくる巣まで、さらには鳥や魚たちの求愛の場や、チンパンジーの日替わりベッドなど、住む環境に合わせて巧みにつくられたさまざまな生きものたちの「家」、全121種類をイラストで紹介。

著者:鈴木まもる
出版社:エクスナレッジ(2023年7月)

公務員制度の持続可能性と「働き方改革」

ーあなたに公共サービスを届け続けるためにー



国家公務員は、憲法15条で「全体の奉仕者」として規定されている。一部の政治家や「特権階級」のために奉仕するものではない。本書では、「公務員とは何か」を解き明かす。

編著:晴山一穂、早津裕貴
出版社:旬報社(2023年9月)

森林・林業まんが・イラストをぜひご活用ください!

こどもたちに森や林業のことを伝える教材として。さまざまなイベントでの展示やパンフレットとして。オフィスで、お店で、木材利用をお考えのみなさまへ。

森林や林業に興味を持っていただくきっかけづくりのひとつとしてどなたも自由にご利用いただけるコンテンツをご用意しております。ぜひ、森林・林業のまんがやイラストをご活用ください。データを希望される方は林野図書資料館までお気軽にお問い合わせください。

林野庁図書館の林業漫画・イラストは[こちら](#)



森林業循環活用図(作: 林野庁職員 平田美紗子)

